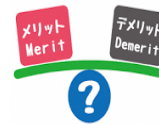


知って受けよう！

がん検診のメリット・デメリット



メリット

- 「早期発見、早期治療による救命」
- 「がん以外の病気も見つけることができ、治療に結びつけられる」
がん検診では、がんになる前段階の病変が見つかることもあります。前段階の病変とは、ポリープや潰瘍、異型上皮などです。こうした病変が軽い場合は経過を観察して、必要に応じて治療することで、がんになることを防ぐことができます。
- 「安心して生活を続けられる」
「異常なし」と判定されれば、ひとまず安心してすごうことができます。ただし、「過信」は禁物です。

デメリット

- 「がん検診の判定・診断の結果が100%正しいというわけではありません。」
「異常なし」という判定は、「あなたの身体にはがんはありません」ということではありません。がんの場所や種類によっては見つけずらく、見落とすこともあるのが現状です。
- 「検査によって身体に負担がかかってしまうことがあります」
X線検査で使うバリウムは便秘になることがありますし、極めて低い可能性ですが、放射線による被曝(ひばく)の影響があります。

出典: 対がん協会HP



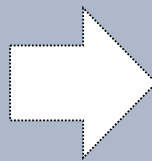
要精密になったら・・・

精密検査を受けるまでが検診です！

がん検診は自覚症状がない早期にがんを発見し、治療することで、がんによる死亡を減らすことを目的としています。市の検診で「要精密検査」と判断された場合は、「がんの可能性がある」状態です。「忙しいから・・・」「自分は大丈夫」と自己判断せず、必ず精密検査を受けるようにしましょう。

例) 大腸がん検診

便潜血検査
『陽性』= がんの疑い



精密検査

大腸内視鏡検査
肛門からカメラを入れて大腸の中に異常がないか検査します。

